

みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄

<市政相談連絡先>

〒370-0041

高崎市東貝沢町2丁目32-6

TEL&FAX 027-363-2733

E-mail: minao.t@jcom.home.ne.jp

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、健やかに初春をお迎えのことと存じます。日頃より後援会をはじめとする地域の方々には、市政活動に温かいご理解とご協力をいただいておりますことに改めて感謝申し上げます。

さて、去年は社会経済活動が本格的に再開し、観光や祭り、芸術・スポーツなどの国際大会もようやく活発化してきたと思われれます。今まで気が付かなかった「日常」の大切さを改めて感じられた方も多かったことでしょう。

史上最強と言われた侍ジャパンのWBC制覇やラグビーワールドカップでの日本代表の活躍は、日本中に夢や希望、勇気と感動を与えてくれました。私たちは、感染症という大きな困難を乗り越え、そこで得た経験や知恵を出し合うことで次の新たなステージへ前進しようと思われた方も多かったのではないのでしょうか。

一方で、異常気象による自然災害や農作物への被害、相次ぐ物価の高騰、さらに政治資金問題や閣僚の交代など政治への信頼失墜がこの30年で最も深刻と言われるような一年でもありました。いずれにしても、国民が納得できる明確で丁寧な説明、議論により健全な社会の確立を望みたいものです。

このような時代だからこそ、安全でずっと住み続けたいまちづくりができるよう課題と魅力を研究し、住民の皆さまの声に耳を傾け、現場の状況を理解することが役割であるという考えのもと、初心を忘れず全力で議会活動に取り組んでまいりますので、引き続きご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

【12月市議会定例会報告】

令和5年第5回市議会定例会は、11月30日から12月15日までの16日間の会期で開かれました。本定例会では、請負契約締結について（高崎市児童相談所建設工事）、公の施設（高崎市文化会館等）の指定管理者の指定について、高崎市一般会計（第6・7・8号）及び特別会計補正予算議案などの審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

なお、歳入歳出の総額は、約1,789億7,620万円になります。



十二月定例会

市政に対する一般質問

一般質問は、四日間にわたり二十七人の議員が行い、高橋みなおは三日目に登壇し、質問しました。以下、概要を報告します。

本市における部活動の地域移行について

質問 群馬県は国が期限とする2025年度末までに公立中学校の部活動で地域移行が可能な環境整備を進めるとした推進計画を策定した。教育現場や地域において大きな改革であり、生徒や保護者にとっても関心の高いテーマと思うが、本市の取り組み状況は

答弁 学校部活動の段階的な地域移行については関係機関と連携を図り、可能なところから検討している。すでに総合型スポーツクラブとの連携に取り組んでいる地域もある。

質問 学校教育の一環として行われる運動部活動には、重要な教育的意義があると認識している。顧問の先生と共に汗をかき、多くのことを学び、子どもたちの健全育成や思いが疎かになっていないか懸念もある。これまで各学校で取り組んできた部活動の教育的意義をどのように地域へ継承していくのか。

答弁 部活動が担ってきた意義を地域クラブ活動に継承するため、学校と地域クラブ、

保護者等との協働体制の構築が重要と考えている。

質問 ガイドラインで示されている生徒への健康への対応も大切と受け止めている。技術力向上が優先され生徒の安全や健康は誰が守ることになるのか。

答弁 地域クラブへ移行した場合は所属するクラブがその責任を果たすことになるが、競技志向や体力等の状況に適した活動内容や心身の健康管理に連携していきたい。

質問 様々な課題がある中で部活動指導員の資質向上と保護者の時間的、経済的負担についてどのように考えているのか。

答弁 教育委員会主催の指導員研修会を年3回開催している。県の推進計画では、保護者や地域の理解を得つつ可能な限り低廉な会費を設定することが求められると示されているので今後研究していきたい。

質問 中体連の大会の見直しも大きな課題である。春と夏の大会を同時に行う方向性が示されているようであるが、今後は地域クラブの中体連大会への参加が認められるのか。また、子どもたちの思いや、情熱をもって指導に尽力されている教員も多いと感じるが、春と夏の間に本市独自の交流大会は検討されているのか。

答弁 中体連については春季大会を無くし、総合体育大会と新人大会の2大会を開催す

ることで熱中症対策など安全な大会にするため、日本中体連の要請により県中体連として決定されている。参加条件を満たした地域クラブの参加は認められ大会への参加は可能である。交流大会等については、今後も市中体連と連携し対応していきたい。

質問 部活の意義は人間教育と言っても過言ではなく、そのような教育に頑張っている教員も多くいる。総合型地域スポーツクラブの運営面からこの改革を乗り越えるのは大変な事業になると思われる。本市独自としての取り組みを進めないと対応は困難であると考えるが、部活動地域移行の方向性をどのように明らかにするのか見解を。

答弁 現在活動している部活動の支援を行いながら生徒や保護者、学校のニーズに寄り添い、子どもたちの活動場所が失われないよう配慮し、段階的に進めていきたい。

♪ 後記 ♪

昨春秋、4年ぶりに「第19回くじら森親子まつり」が、東部商工振興会、東部まちづくり研究会主催で開催され多くの親子連れで賑わいました。くじら森公園でかつて遊んでいたOB・OGが子ども思い出に残る楽しいことをやりたいねと考えたのがきっかけだったと記憶しています。これからも地元を愛され楽しみにしてもらえたいイベントであってほしいと願うのは私だけではないでしょう。